

平成25年度 村上市外国語活動部 活動報告

部長 圓山 亨子

1 研究主題

コミュニケーションへの積極性を高める授業
～「HI FRIENDS」の自校化の在り方を探る～

2 研究の概要

研究主題を受け、以下の2点を重視して研修を行った。

- ① 授業研修をとおして、積極的なコミュニケーションを促す課題の工夫や指導計画の自校化の観点を検討する。
- ② 英会話や指導法についての講習をとおして、授業力を高める。

3 研究の実際

○8月 第1回部会 講習会

(1) 教育課程伝達講習

(2) 英語講習 講師 松本 弥生・Joshua Samuel 外国語指導助手

○11月 第2回部会 授業研修会

授業者 星 邦央 教諭(村上南小学校)・橋本 照美 外国語指導助手

<単元>「Let's go to Italy. 行ってみたい国を紹介しよう」HI FRIENDS 2

<授業の概要>

※「積極的なコミュニケーションを促す課題の工夫」の視点から

本時では、視覚に訴える豊富な資料をもとにクイズ形式で授業を展開。知的好奇心を喚起させる課題を工夫することで、活動の楽しさだけでなく、知る楽しさも味わえるようにした。また、グループ対抗とし、クイズに答えるための相談の場を意図的に設定することで、積極的なコミュニケーションを促そうとした。

【クイズの内容】 ・いろいろな国旗○×クイズ ・国旗色当てクイズ
・国旗の秘密「なぜユニオンジャックが使われている？」
・国旗の秘密「日本とパラオの国旗はなぜ似ている？」

※「指導計画の自校化」の視点から

「HI FRIENDS 2」では、世界の国々に目を向けさせる単元構成となっているが、本単元では、そこに「日本のよさや歴史について学ぶ活動」も取り入れ、国際理解教育や社会の歴史の学習との関連を図った。

本時では、「日本とパラオの国旗はなぜ似ている？」というクイズをとおして、戦時中、日本人がパラオの人々のために尽くしたことやパラオの人々のもつ親日感情に触れさせ、日本のよさを再確認させようとした。

4 成果と課題

- 11月の公開授業では、「知的好奇心を喚起させる課題」や「視覚に訴える資料」の工夫により、積極的に聞き、話し合い、クイズに答えようとする児童の姿があった。また、『聞く』コミュニケーションにおいて、英語指導助手が話す英語の説明を「推測」しながら聞き、真剣に見たり、うなずいたりしながら積極的に「反応」する児童の姿も見られた。指導計画に「日本のよさや歴史について学ぶ活動」として「日本とパラオの国旗にまつわるエピソード」を取り上げたことは、児童の知的好奇心を喚起させるとともに、国際理解や歴史学習の域にまで学習を深化させることができた。「授業者の教材観」や「他教科等との関連を図った単元構成」は、指導計画の自校化の観点を探る上で大変参考となった。
- 8月の講習会では、クラスルームイングリッシュやアクティビティー等の講習をとおして、日々の授業に直結する知識や指導技術を学ぶことができた。クラス担任が自信をもって授業をリードしていくために、このような講習の場をさらに充実させていく必要がある。